

手術看護認定看護師

手術看護分野は、手術を受ける患者とその家族に対して、手術という侵襲的な治療の影響を最小限にするために、専門的知識や科学的根拠に基づいた看護を実践し、自らの実践を通して教育・指導・相談の役割を遂行することを職務としています。

【今までの取り組み】

1. 周術期看護の向上を目指し、周術期患者のROM測定の導入
2. 大血管手術における温風式加温装置を用いた新たな術中体温管理方法の導入
3. 手術体位別ケア基準の導入

【今後の取り組み】

1. 食道手術患者における禁煙指導や術前口腔ケア等の周術期管理
2. 上記周術期管理の食道手術以外の手術への拡大
3. 術前オリエンテーション映像の導入

【院外活動として神奈川手術看護認定看護師会主催手術看護セミナーの企画・運営】

守屋優一

取得年：2007年

出身校：東海大学健康科学部看護学科

後輩を指導する際に、根拠に基づいた専門的な技術や知識を教える重要性に気がつきました。そこで、より専門的な知識や技術を身につけたいと考え、認定看護師を目指しました。今後は周術期管理の充実を目指したいと思っています。特に術前患者の身体的管理(禁煙指導など)の質を向上させたいと考えています。

井川拓

取得年：2014年

出身校：東海大学健康科学部看護学科

日々の業務に従事するなかで、手術室看護師として自分たちの実践している看護を究め、手術室全体で更なる専門性の確立を図りたいと考え、認定看護師を目指しました。手術決定から退院までを周術期と捉え、治療早期での手術看護介入(実践・指導・相談)を実現し、患者の安全・安楽向上に努めたいと考えています。